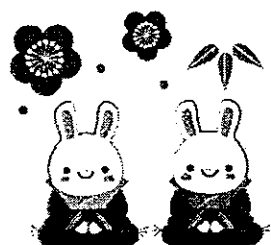


図書館だより 1月号 奈良大学附属高等学校 図書部 発行



2017年の幕開けです。新しい年を迎え、新しい気持ちで、新年の目標を掲げた人も多いことと思います。昨年度も、人気の小説やコミックが映像化されたものがたくさんありました。みなさんの中にも、映像化作品の原作本を手にとって読んだ人もいます。あまり読書をしたことがない人も、身近なところから活字の世界に入っていくのも楽しいと思いますよ。新しい年、新しい自分に出会えるチャンスを増やしていきましょう。

希望図書 リクエスト募集中 !!

ただいま、第3期の希望図書を受け付けています。以前から読んでみたいなーと思っていた本、親や先生や友達から薦められて、ちょっと気になっている本、本屋さんで大きく紹介されている新書・・・などなど。今年度、最後のチャンス!

カウンター横にあるリクエストカードに必要事項(学年、クラス、氏名、書名、著者名)を記入して、カウンター係の先生に提出するか、リクエストボックスに入れてくださいね。

今月のオススメ



「精神科医が教える 読んだら忘れない読書術」 榊沢紫苑 サンマーク出版

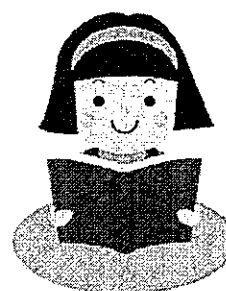
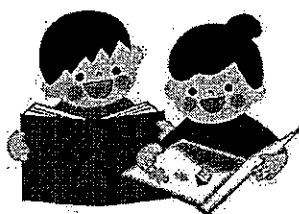
本をたくさん読んでいるにも関わらず、読んだ内容をすぐに忘れてしまうという人、多いのではないのでしょうか。私も、読んだ内容を人に勧めたりしたいんだけど、すぐに忘れてしまうんですよね……。そんな時に会った本書!

著者が言うには、「覚えていない、つまり『記憶』に残っていないということは、それは『知識』としてあなたの中に定着していないということ。もっとい

ってしまえば、その読書は何の役にも立っていない、ということと同じなのです」とのこと。そんな人のために、「読んだら忘れない本物の読書」をするために必要なコツを本書では解き明かしてくれています。

著者は、月 20~30 冊の読書を3年以上続け、年に約3冊のペースで本を書き、ソーシャルメディアで累計 40 万人の読者に向かって毎日情報発信している精神医学者。心理学、精神医学、脳神経医学の観点から話がすすんでいきます。

「記憶に残る読書術」はつまり、「自己成長につながる読書術」、「人生を変える読書術」なんですね。そしてまた、「記憶に残る読書術」とは、単なる読書術ではなく、時間術、文章術、集中力といった、ありとあら



ゆる仕事術やスキルと深く結びつくのです。せっかく読書するなら、そんな、ためになる読書をしていきたいですね。

さまざまな研究によると、読書は「記憶力」「思考力」「集中力」「情報処理能力」「共感性」「コミュニケーション能力」「創造力」などを教えてくれることが判明しているそうです。

著者は言っています。「人間は自分の経験、体験からしか物事を判断できません。日本人の約半数である『本を読まない人』は、乏しい自分の経験だけで判断していくし

がありません。それでは『井の中の蛙』になってしまうでしょう。自分の経験・体験からしか判断できない人は、今、自分が走っているレールをそのまま走り続けるしかないのです。自分がいる井戸の外側の情報が全くないのに、その井戸から出ていこう、というアイデアが浮かぶはずはありません。本には他人の経験・体験がたくさん書かれています。自分が一生かかっても体験できない、何千、何万という生き方、生き様を本から学ぶことができます。そこに、自分にピッタリと合った自分の天職、自分の生き甲斐、ワクワクする自分の夢などを見出す可能性は、非常に大きいのです。」

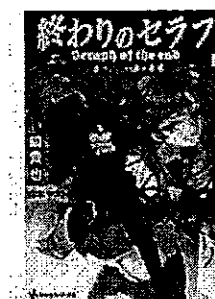
なるほど。やっぱり、読書をするって楽しくもあり、大切なことなんですね。見知らぬ世界へ私たちをいざなってくれます。私たちの可能性を大きく広げてくれます。自分の進路に悩んでいる人にも、いいきっかけを与えてくれるかもしれませんね。



図書委員 今月のオススメ

1年F組

終わりのセラフ 瀬川 16歳の破滅 鏡貴也 講談社



・この本は本編の漫画の小説バージョンで漫画の方を読んでいる人には、ぜひ読んで欲しいと思います。
・この本の主人公は、本編で出てくる 一瀬 隼 が 16歳の時の話です。本編になぜそうなったのか? など詳しく書かれています。世界が滅ぶまでのことや鬼呪についてなど、本編にのっていないことがたくさん書かれています。より、終わりのセラフにはまると思います。みなさんもぜひ、終わりのセラフの世界観を楽しんでみてください。

12月の図書館利用状況			
1年生	2年生	3年生	合計
46人	12人	50人	108人



冬休み期間ということもあって、先月の利用者数は少なかったようですね。3年生は、センター試験や一般入試本番を間近に控え、受験勉強のための来館者が多く見られます。ガンバレッ! 受験生っ!!